

展開案（1 / 3 時目）＜高等学校＞

- ◆本時のねらい：「強み」に着目した交流活動を通して、自分や友達の「強み」を知ることができるようにする。
 - ◆本時のめあて：自分や友達の「強み」を知ろう。
 - ◆本時の展開（※）については、授業者がスライドに加筆したり授業者自身の言葉で思いを伝えたりして、スムーズな活動につなげたり、学習への理解を深めさせたりすることもできます）
- * ワークシートや振り返りシート等をまとめるもの（ファイル等）を準備します。

学習活動	スライド	指導上の留意点
(授業前)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングスライドを提示しておく。 ・交流活動ができる座席配置にしておく。
1 3時間の学習活動の内容と目標を知る。(4分)	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ※ 学級や生徒の実態に応じて、学習内容に対する必要性和有用性を感じることができるように説明する。 ・3時間の学習活動の内容と目標を伝えることにより、学習に見通しをもたせ、意欲を高めるようにする。
2 本時のめあてを知る。(3分)	4~6	<ul style="list-style-type: none"> ・「本時の流れ」を黒板に掲示することにより、ふだん取り扱わない学習内容への見通しをもつことができるようにする。
3 「強み」について知る。(1分)	7・8	<ul style="list-style-type: none"> ・「強み」の一般的な定義のみを簡潔に説明することにより、生徒が「強み」について難しく考えすぎないようにしたり、「自分Webbing」に取り組みやすくしたりする。
4 「自分Webbing」の交流活動(4人*)を行う。(32分)		
(1) 自分に関すること(好きなものや苦手なことなど)を書く。活動①	9・10	<ul style="list-style-type: none"> ※ 「自分Webbing」の教師版を作成して授業者の自己開示を行ったり、サンプル版よりも難易度を下げたパターンを例示したりすることにより、「自分Webbing」に取り組みやすくする。 ・書くことが難しい生徒には、個別に言葉掛けをする。
(2) グループの友達のワークシートに、友達の「強み」を考えて書く。活動②	11~15	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分Webbing」の「～が苦手」の部分が他の意欲等につながっていることに着目させ、一見、ネガティブやマイナスに思えることも考え方や生かし方次第で「強み」になることを具体的に例示することにより、「『強み』を理解するポイント」を理解させる。 ・活動①と同様にサンプル版や教師版を用いて、具体的な「強み」の見付け方を例示することにより、友達の「強み」を見付けやすくする。 ・生徒が活動時間の見通しをもつことができるように、提示した時間の15秒ほど前に声を掛ける。 ・期待感をもたせるために、3人目まで終了したら、ワークシー

<p>(3) 友達に「強み」を書いたり、「強み」を書いてもらったりした気付きを伝え合う。</p>	16	<p>トを裏返しにして、教師の合図で本人に渡すようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達に「強み」を書き加えてもらったワークシートに目を通す時間を設けることにより、自分の「強み」を実感することができるようにする。 ・「話し方と聴き方のポイント」を知らせ、安心できる雰囲気の中で互いの思いや考えを伝え合うことができるようにする。 ・友達に「強み」を書いてもらった直後の感想を伝え合うことにより、グループの親和性を高めることができるようにする。 <p>※ 生徒の活動の様子や教師が気付いたこと等を肯定的にフィードバックすることにより、温かい雰囲気づくりにつなげる。</p>
<p>(4) 友達が書いてくれた「強み」と「自分 Webbing」を参考に、自分の「強み」を考えて書く。</p> <p>活動③</p>	17・18	<ul style="list-style-type: none"> ・活動②と同様にサンプル版や教師版を用いて、具体的な「強み」の考え方を例示することにより、自分の「強み」を書くことへの見通しをもちやすくする。
<p>(5) 自分と友達の「強み」を伝え合う。活動④</p>	19	<ul style="list-style-type: none"> ・伝え方の話型を示すことにより、活動がスムーズに行われるようにする。 ・「強み」を伝え合うことにより、互いに自他の「強み」を知ることができるようにする。 <p>※ 生徒の活動の様子や教師が気付いたこと等を肯定的にフィードバックすることにより、温かい雰囲気づくりにつなげる。</p>
<p>5 本時の活動を振り返る。 (9分)</p> <p>(1) 振り返りシートに記述する。</p> <p>(2) グループで気付きを伝え合う。</p>	20	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に掲示した「本時の流れ」を確認することにより、学習した内容を具体的に振り返ることができるようにする。 ・気付いたことや感じたことをグループで伝え合うことにより、自己理解や他者理解を深めることができるようにする。 ・全体で出た感想を板書し、振り返る。 <p>※ 授業全体を通じた生徒の活動の様子や教師が気付いたこと等を肯定的にフィードバックしたり、学級や生徒の実態に応じて学習内容を具体的に意味付けたりすることにより、学習内容に対する必要性和有用性を感じることができるようにする。</p>
<p>6 次時の活動を知る。 (1分)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・次の時間も「強み」について学習することを伝え、興味や関心を継続できるようにする。

◆評価の視点：「強み」に着目した交流活動を通して、自分や友達の「強み」を知ることができたか。

◆板書計画

<p>3時間のめあて</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自分や友達の「強み」を知ろう ② 自分や友達「強み」をまかそう ③ 自分や友達「強み」をまかしていこう 	<p>「強み」の定義 ＝人の強み、強み、行動、からだ</p> <p>人に奪わっているもの 人にあるもの 人がもっているもの</p>	<p>「強み」を理解するポイント</p> <p>ポジティブ(プラス)だと思えることはかりなく、ネガティブ(マイナス)に思えることも急めて、「強み」として考える</p>	<p>ワークシートの回し方</p>	<p>◆学習の気づきや感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 						
<p>本時の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「自分Webbing」を書く ② 友達「強み」を考えて書く ③ 自分の「強み」を考えて書く 			<p>【話し方のポイント】 【聴き方のポイント】</p> <table border="0"> <tr> <td>① 相手を見る</td> <td>① 相手を見る</td> </tr> <tr> <td>② 聞こえる声で話す</td> <td>② うなずきながら聞く</td> </tr> <tr> <td>③ はっきり話す</td> <td>③ 最後まで聞く</td> </tr> </table>	① 相手を見る	① 相手を見る	② 聞こえる声で話す	② うなずきながら聞く	③ はっきり話す	③ 最後まで聞く	
① 相手を見る	① 相手を見る									
② 聞こえる声で話す	② うなずきながら聞く									
③ はっきり話す	③ 最後まで聞く									
			<p>(↑ 掲示必要時のみ使用)</p>							

いつでも確認することができるように、「3時間のめあて」「本時の流れ」「『強み』の定義」「『強み』を理解するポイント」を提示しておきます。

必要に応じて確認することができるように、「ワークシートの回し方」「話し方と聴き方のポイント」を提示します。

振り返りを全体で共有するために、生徒の発言を板書(・)します。

◆授業前の取り扱い

- * 交流活動におけるグループの人数は4人編成が望ましいが、4人にならない場合は、5人グループを編成する。その場合、ワークシートを回して行う活動では、指示通りに活動を進めて、3人回したところで終了する。
- ・グループを意図的に構成し、生徒の心理的な負担を減らすように配慮する。

◆授業後の取組例

- ・学級通信等で学習活動や生徒の感想を紹介し、家庭でも言葉掛けをしていただくようにする。
- ・進学や就職に向けた自己分析や自己PR資料として活用する。
- ・行事と関連させる。